

氏名	秋 山 明 三
授与した学位	博 士
専攻分野の名称	医 学
学位授与番号	博乙第3227号
学位授与の日付	平成10年6月30日
学位授与の要件	博士の学位論文提出者 (学位規則第4条第2項該当)
学位論文題目	上腕骨骨頭の部位別骨密度と上腕骨外科頸骨折に対する 髓内ピン固定の力学的研究
論文審査委員	教授 村上 宅郎 教授 田中 紀章 教授 清水 信義

学 位 論 文 内 容 の 要 旨

上腕骨近位部は大腿骨近位部、橈骨遠位部とともに高齢者における骨折の好発部位である。本傷は一般に保存的治療が選択されるが、著者はNeer分類の2 part あるいは3 partの本骨折に対して、逆行性髓内ピン固定術を行っている。髓内ピンを近位骨片のどの部位に挿入すれば、最も強固な固定が得られるかを検討するために上腕骨頭の骨梁構造及び部位別骨密度を測定し、髓内ピンの固定力との比較検討を行った。

ヒト屍体上腕骨骨頭の部位別骨密度を検討した結果、圧迫骨梁の中心部に位置する後内側部の骨密度が他の部位と比較して有意に高値を示した。一方AO海綿骨用螺子による各部位の引抜きに対する抵抗力と骨密度は相関性を認めた。

論 文 審 査 結 果 の 要 旨

上腕骨近位部は高齢者における骨折の好発部位であり、本研究者は逆行性髓内固定法を行ってきた。そして、本研究者は今回ヒト系統解剖屍体の上腕骨を解剖学的に精査して同骨の後内側部の骨密度が最も高く、同部に固定ピンを挿入する方法が優れていることを明らかにした。

よって、本研究者は博士（医学）の学位を得る資格があると認める。